

予算の審査から、一般会計予算に対する討論

予算の審査から(予算特別委員会の主な審査状況)

今定例会では、平成17年度補正予算については3月8日・9日の両日、平成18年度当初予算については3月17日から29日までの間(7日間)、予算特別委員会を開催して審査を行いました。ここでは、その主な内容と平成18年度一般会計当初予算に対する各会派の討論内容についてお知らせします。

平成17年度補正予算

一般会計

【説明】歳入歳出予算の総額を4億5千155万5千円減額し、554億6千495万7千円とするもの。

【主な質疑事項】

- ・青嵐中建てかえ工事の大きな減額について
- ・不正アクセス防止の対応等について

【結果】賛成多数で可決

国民健康保険特別会計
下水道事業特別会計
受託水道事業特別会計
保谷駅南口地区第一種市街地再開発事業特別会計

平成18年度当初予算

一般会計

【説明】歳入歳出予算の総額は578億2千万円。債務負担行為は住吉福祉会館建てかえなど30事業を予定。地方債は青嵐中学校舎建てかえなど17事業、59億9千20万円の借入限度額を予定。一時借入金最高額は60億円と定める。

【主な質疑事項】

- ・マニフェストに掲げる「予算編成過程での情報公開」と市民参加に関する18年度予算編成での手法について
- ・民間シエルトの運営助成金の補助基準について
- ・電子自治体の最適化計画による削減効果について
- ・国保会計への繰出金の基準及び保険料の引き上げについて
- ・地域経営戦略プランの受益者負担9項目、30億円に関する今後の事業費コスト低減と受益者負担の

対象の関係について
乳幼児医療費助成の19年度に向けた取り組みについて
ITシステムの安全維持のための外部監査について
中学校給食の諮問について
障害者介助員事業の現況と6月実施に向けての準備について
ドッグランの課題・問題点に関する近隣住民の理解と暫定使用に関する都との協議について
人にやさしいまちづくり条例制定と紛争予防の効果、環境問題との連携について

【結果】賛成多数で可決

国民健康保険特別会計

【主な質疑事項】
保険料収納率93%の計上と収納結果について
【結果】賛成全員で可決

下水道事業特別会計

【主な質疑事項】
下水道維持管理台帳システム整備業務委託の効果と課題について
【結果】賛成多数で可決

受託水道事業特別会計

【結果】賛成多数で可決
国民健康保険特別会計

【主な質疑事項】

保険料収納率93%の計上と収納結果について
【結果】賛成全員で可決

下水道事業特別会計

【主な質疑事項】
下水道維持管理台帳システム整備業務委託の効果と課題について
【結果】賛成多数で可決

受託水道事業特別会計

【結果】賛成多数で可決
国民健康保険特別会計

【主な質疑事項】

地域包括センターを市内4つの地域に分割した地域ごとの利便性について
【結果】賛成全員で可決

保谷駅南口地区第一種市街地再開発事業特別会計

【主な質疑事項】
ペDESTリアンデッキの修正業務設計委託について
地権者の行政不服、裁判申請、供託について

一般会計予算に対する討論

【結果】賛成多数で可決
駐車場事業特別会計
【主な質疑事項】
指定管理者公募に当たったの仕様書について
【結果】賛成全員で可決

破綻に向かう
旧来型予算に反対!
無所属
森 輝雄

事務事業見直し姿勢やDV被害者を保護する民間シエルトへの助成や障害児の学校生活を保障する介助員の派遣ほか、人権に配慮した施策は評価する。しかし、不祥事の原因究明や未然防止の努力が見えない。不正アクセスでは外部監査をしないなど、システム管理者として市民の信頼回復をなさざりしている。事務執行体制や内部管理コストの見直し姿勢が見られない。財政健全化の観点、落札率の高さを改善する手だても見えない。ソフト事業を削って経常収支比率を下げようとしているだけだ。満足より納得してもらえない行政を目指せ。

賛成
福祉・教育切り捨て
市民不在の坂口市長
西東京市議会公明党
新井 五郎

市長は、徹底した行政体制の改善による内部努力で経費の削減を図り、その成果を市民に公開した上で受益者負担をお願いすべきである。国保料の改定については、戦略プランで18年度に保険料の限度額、19年度に保険料率の改定になっているのを同時に急激な市民負担増を提示してきた。公明党は、総括質疑を通じて均等割を2千円引き下げる提案を行い、さらに乳幼児医療費の所得制限を5歳児未満まで撤廃、中学校給食導入に向けた取り組みなど12項目の要求に一定の評価が見られたことから、これらを総合的に判断し、市民生活の影響も考慮して賛成する。

賛成
計画行政を前進させ、
行革を進めよ!
市民クラブ
猪野 滋

厳しい財政環境下、実施計画及びマニフェストの進捗状況や行革の取り組みの予算化を評価項目とした。子育て支援策、小中学校校舎の改修、ごみの減量推進、ひばりヶ丘駅周辺の整備、まちづくり条例の策定、乳幼児医療費の段階的拡充やがん検診無料化継続等の予算化を評価する。2次行革では初年度目標の19億5千万円の効果を確認したが、3力年40億円の改革の影響が、あつた三位一体の改革の19年度以降が見えない今、行革のスピードアップが必要。市長は、成果を得るためにどんな強みを生かして何をしなければならぬかを肝に銘じ、行政執行に当たれ

賛成
増える一方市民負担
無責任な坂口市長!!
自由民主党・市民派
稲垣 裕二

本予算は歳入歳出578億2千万円で、前年度比5.4%増となっている。厳しい財政状況の中、事務事業の総点検により、「通所介護サービス事業に係る食費の利用者負担金1食400円から600円への引き上げ」「小中学校の卒業対策費の全廃」等多くの市民負担が明らかになった。また、「行革プラン」の目標経常収支比率90%に対し、当初予算で95.3%と目標数値を大幅に上回り、基金の追加取り崩しを行う等危機感を覚える。さらに、たび重なる事務手続の不手際は信頼を損ねるものである。しかし、我々自由民主党・市民派の要求項目に対し積極的に対応したことは評価する。

賛成
市民の視点に立ち
行財政改革を進めよ!
民主系西東京
桐山 ひとみ

総合計画の実効性確保、政権公約の実現、行革を進める予算として編成されたが目標には達していない。行政経費への影響を見きわめ、早急な行財政改革が求められる。厳しい財政の中で、DV被害者への民間シエルト助成・検診事業拡充と無料化継続、乳幼児医療費助成の年齢枠拡大、小中学校への防犯警備体制強化、小学校への障害児介助員配置等を評価する。また、たび重なる不祥事や方針変更について市長の政治姿勢が問われている。議会や市民へ情報公開と説明責任を果たし、市長が先頭に立ち市役所一丸となって市政運営に取り組め!

賛成
平成18年度予算の
問題・課題と方向性
自由民主党西東京市議団
鈴木 久幸

予算総額は578億2千万円、市債(市の借金)は約510億円。さらに基金残高は2年後には0になるとの予測。特別会計への繰出金も主要5事業で79億円余りとなる。歳入は、市税の伸び悩み、三位一体の改革の影響などで厳しい状況である。今後を考えると危機感を抱かざるを得ない。抜本的な事業の見直しが必要と提言する。個別の施策はおおむね是とし、中でもドッグランの設置と市指定文化財保存経費補助金は評価する。今後は2庁舎体制の早期解決、田無駅南口広場やいなバスルート見直しのため、都市基盤の整備が必要だと申し上げて賛成討論とする。

賛成
子どもたちの生命と
健康を守る予算
日本共産党西東京市議団
葉原 時美

市民の声を大切にする車座集会の充実と継続。乳幼児医療費助成の所得制限なしを4歳未満に拡大。市民健康診査の無料化の継続と合わせ前立腺がん検診の開始と乳がん検診の充実。子どもの総合支援センター・住吉福祉会館等の建てかえ。小学校普通学級に通う障害児への介助員配置。学校巡回警備員の増員。地域ハート・小・中・高のバス除去対策。青嵐中の校舎建てかえ工事など、市民要求に応えた予算である。なお、保谷駅南口再開発・ひばりヶ丘駅周辺まちづくりは住民合意と丁寧な説明を。東大農場分断の道路計画は再考を。

賛成
介助員制度の実現
高く評価
生活者ネットワーク
保谷 七緒美

経常収支比率が95.3%と危険水域に入っていることとは、厳粛に受けとめるべき。評価する点は、障がい児の介助員制度、DV被害者救済の民間シエルトへの補助、学校施設におけるバス除去に最優先で取り組むこと、有機農業推進事業の拡充、交通計画の策定、ITの最適化計画の策定。一方、意見として、都市計画道路3・4・9号線については、東大農場の今後の姿が明らかになる前の段階では道路建設推進を表明しない、緑化基金を設置する、公共施設の統廃合では、スクラップ・アンド・ビルドをより徹底化すべきことを申し述べる。

賛成
介助員派遣・DV
シエルト補助を評価
無所属
土井 節子

国の三位一体の改革で歳入は25億円の影響を受けた。厳しい状況下の予算編成だ。坂口市長の政権公約である通常学級に通う障害児への介助員の派遣や、DVシエルトへの補助は評価できるものだ。各種検診等の無料化の継続、乳幼児医療費の段階的無料化も政権公約の実現だ。小中学校のアスベスト対策の前倒し実施も評価する。リサイクルプラザ計画の見直しは不十分だが、合併特例債の適用条件ということをやむなしとする。3・4・9号線の早期事業化は見直せ。今後、行革はシビルミニマムの確保を図り、総合計画の投資的見直しを。